

stain of glass

大村 大悟

ohmura daigo exhibition

2014年6月3日[火] — 6月15日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像01】

道具の話:大村大悟展 会場風景
金沢・世界工芸トリエンナーレ サテライト
2013 gallery muku/石川

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2014年6月3日[火]から6月15日[日]まで、「stain of glass : 大村大悟」展を開催いたします。

大村 大悟(おおむら・だいご / 1984~)は、これまでおもに土や木といった自然物、鉄やガラスといった日常的によく目にする「もの」を素材として、そこに最小限の手を加えることで、鑑賞者の認識を揺さぶり、ものの在り方や認識の変化を誘導する「こと」を起こすような作品展開を試みています。

例えば「壁に立てかけられた一本の棒っきれが、物語や歴史、記憶といった『何か』に紐づいた時、それはただの棒とは違う『何か』として認識されてしまう」ということ。

日常的によく目にするものをモチーフとしながらも、人の手が加わることで生まれる方向性や、目にはみえない力の向き、また個人が持つ記憶や経験によって変化する認識の境界のようなものを作品化します。

とする大村は日常的なモチーフを用いて、そこに鑑賞者個人が持つ知識や記憶、経験や物語といった何らかの要素を誘導することで、その認識が変化する「境界」のようなものを作品化しようとしています。

そのための方法として大村は、「もの」の意味や在り方、「空間」の持つ特性、「鑑賞者」の知識・経験・固定概念など、それぞれの要素や背景を丁寧に観察し、収集します。そうして抽出された要素は、少しばかりの手を加えられることで微かに顕在化し、そこに小さなズレや違和感をつくりだします。異なる「もの」が持つ同一の要素を際立たせたり、不可視な要素を可視化させるなど、それらは目の前の「もの」に目を凝らす中で、鑑賞者自身がそこに新たな価値や視点を持つ「状況づくり」とも呼べるものです。

ギャラリー・パルクでは2012年に続き2回目の個展となる本展で、大村は月の観測映像や木彫作品、ツバメの糞等の資料を用いて会場内にそんな状況をつくりあげ、「鑑賞者」と「もの」と「空間」に新たな関係の「はじまり」をささやかに促します。

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 stain of glass:大村大悟 stain of glass:ohmura daigo exhibition

出品作家 大村 大悟 (おおむら・だいご)

会期 2014年5月20日(火) — 6月1日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【彫刻・インスタレーション】 月の観測映像や木彫作品、ツバメの糞等の資料や彫刻を用い、鑑賞者の認識の在り方を揺さぶる。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル
【Tel&Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・永尾)

stain of glass

大村大悟

ohmura daigo exhibition

2014年6月3日[火] — 6月15日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像02】

《道具の話》 branch/forest展
2012 Gallery PARC/京都

子供の頃、「どこにでも座るのはやめなさい」と叱られることがあった。小さい頃は、テーブルや道端の縁石なども座りやすい高さだったので、尻を置いてはいけない場合や、尻が汚れる場合があった。相対的な関係を知ることの積み重ねで、ものの価値を学んでいったように思う。

本展覧会では、月の観測映像や木彫作品、ツバメの糞等の資料を用いたものなど、数点の作品展示を行います。

日常的によく目にするものをモチーフとしながらも、人の手が加わることで生まれる方向性や、目にはみえない力の向き、また個人がもつ記憶や経験によって変化する認識の境界のようなものを作品化します。

鑑賞者が、無意識に「あたりまえのこと」と捉えている身近な事象に対して、その意味の再確認、更新を促すような展示になればと思います。

大村大悟

1984 石川県生まれ

2007 成安造形大学 造形学部造形美術科 卒業

個展

2012 道具の話:大村大悟展 gallery muku/石川

- branch/forest Gallery PARC/京都

2008 time・point of view GALLERY wks./大阪

2007 rich farmland 立体ギャラリー-射手座/京都

グループ展等

2013 道具の話:大村大悟展 金沢・世界工芸トリエンナーレ サテライト gallery muku/石川

- 京都大学花山天文台gallery week 京都大学花山天文台/京都

2012 自然学 蕾-来るべき美学のために- ギャラリーアートサイト/滋賀

- Emotion Release:reprise ギャラリーアートサイト/滋賀

2011 Eutectic-Eutectoid Artislong Gallery/京都

2010 主張展 Artislong Gallery/京都

- sowaka clip9 gallery sowaka/京都

2009 Emotion Release ギャラリーアートサイト/滋賀

- しがアートフェスティバル2009 滋賀会館/滋賀

- 「現代アートのコロンブスたち展」 ボーダレスアートミュージアム NO-MA/滋賀

- MASSIVE PROGRESSION Artislong Gallery/京都

- Magnet design exhibition tour 09 兵庫県立美術館/兵庫

2008 Art Camp 2008 サントリーミュージアム[天保山]/大阪

- 現代彫刻展vol.2 吹田市文化会館MAY THEATER/大阪

2007 彫刻 包摂される空間 ギャラリーアートサイト/滋賀

- 艶展 gallery ryo/大阪

2006 湖族の郷アートプロジェクト 伊豆神社境内/滋賀

- アートナウKANAZAWA 金沢21世紀美術館/石川

2005 現代への視点vol.10 守山市民ホール/滋賀

stain of glass

大村大悟

ohmura daigo exhibition

2014年6月3日[火] — 6月15日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像03】
Art Camp 2008 会場風景
2008 サントリーミュージアム[天保山]/大阪



【広報画像04】
time・point of view
2008 GALLERY wks./大阪



【広報画像05】
branch/forest
2012 Gallery PARC/京都



【広報画像06】
道具の話:大村大悟展 会場風景
2012 gallery muku/石川



【広報画像07】
道具の話:大村大悟展 会場風景
2012 gallery muku/石川



【広報画像07】
京都大学花山天文台gallery week
2013 京都大学花山天文台/京都